

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第34週 （8月18日～8月24日）

★県内での感染症発生状況

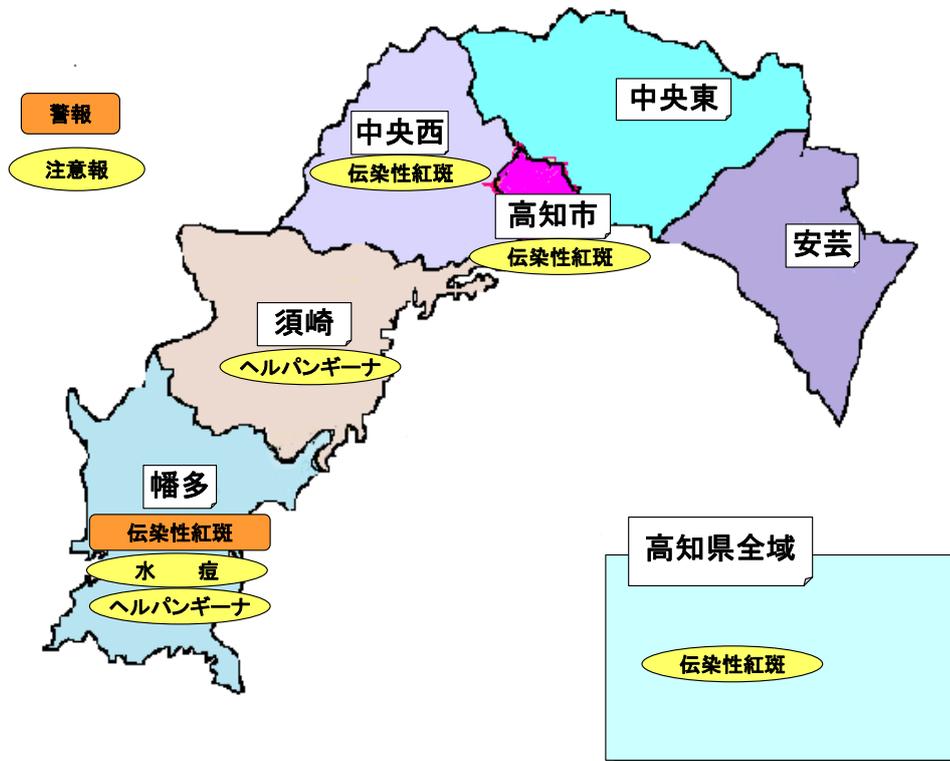
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
新型コロナウイルス感染症	↑	11.50	安芸で急増、中央西、須崎、高知市で増加しています。
感染性胃腸炎	→	2.40	安芸、須崎で減少しています。
ヘルパンギーナ	↑	1.60	須崎、幡多で急増、高知市、中央東で増加していますが、安芸で急減しています。
インフルエンザ	↑	1.47	中央西で急増、高知市、中央東で増加していますが、幡多で急減しています。
RSウイルス感染症	↑	1.10	中央東、幡多、中央西で急増しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↓	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↑	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

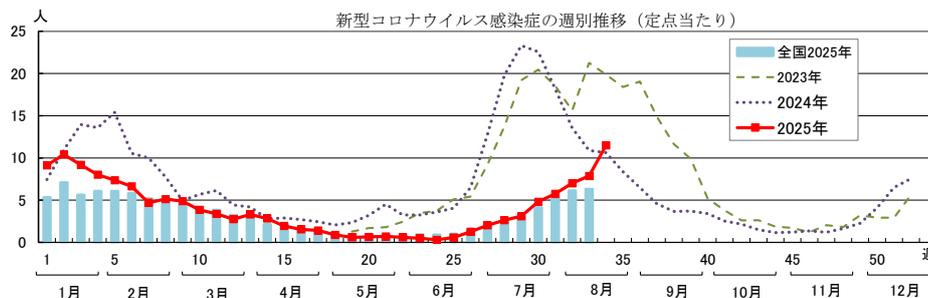
週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★気になる感染症

新型コロナウイルス感染症

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第30週 7/21～7/27	183	4.82
第31週 7/28～8/3	219	5.76
第32週 8/4～8/10	266	7.00
第33週 8/11～8/17	299	7.87
第34週 8/18～8/24	437	11.50



県・全国共に、6月下旬から増加傾向となっておりますが、昨年、一昨年と比べ、ゆっくりと増加しています。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化するおそれがありますので、高齢の方と会ったり、通院するときは、マスクの着用など感染対策をお願いします。

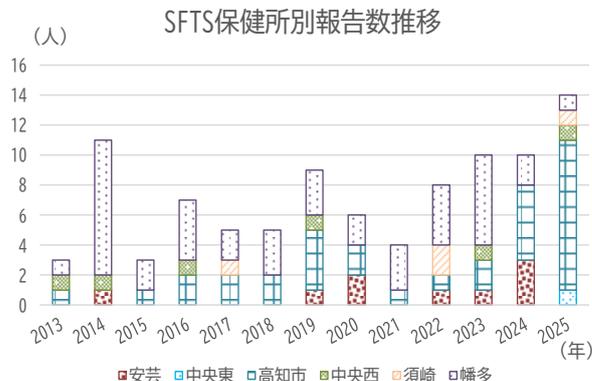
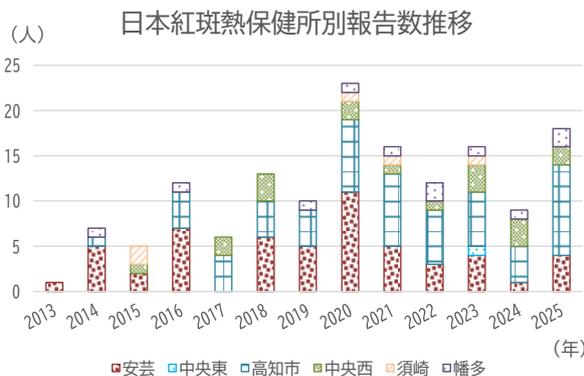
●予防方法・注意点

- * 手洗い、十分な換気、密接・密集・密閉といったいわゆる「三密」を避ける、咳エチケットなどの感染対策をお願いします。
- * 医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方々が集まる場所を訪れる場合は、マスクの着用ほか、施設の定めるルールに従いましょう。
- * 発熱等の症状のある方は、出勤や登校を控え、マスクを着用のうえ、医療機関を受診（特に高齢者・基礎疾患を有する方）しましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）



第34週は幡多保健所管内から「日本紅斑熱」1件の報告がありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。農作業やレジャーなど野外での活動が多くなる時期には、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接接触することで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効です。獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- *マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- *野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。
- *忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）
- *野外活動後はダニに咬まれていないか確認しましょう。
- *飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- *体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

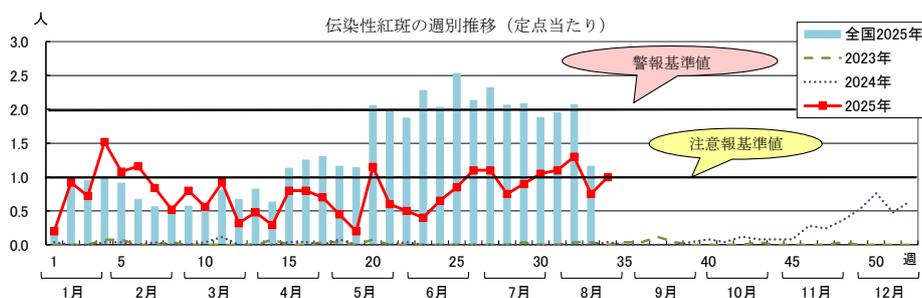
- *野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- *受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

- *重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- *高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

伝染性紅斑

県内の報告数は、昨年の同時期と比較すると非常に多い状態が続いており、全国も同様の傾向です。



伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

約10～20日の潜伏期間の後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がり、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。また、感染しても症状がない場合（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は妊婦健診の際に医師に伝えてください。

●予防方法

- *飛沫や接触感染するので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。
- *予防接種はありません。

*ウイルス排出時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

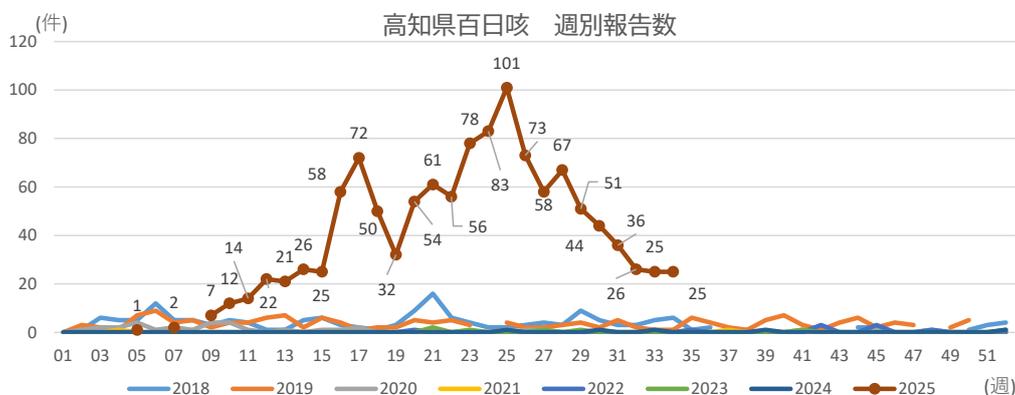
●学校感染症

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

百日咳

高知県の報告数は第25週から減少傾向となっていますが、過去の報告数と比較すると多い状態が続いています。現在1,186件（2025年1月1日から8月27日までの累計速報値）となっており、全ての年齢層からの報告がみられます。

また、大きな流行となり始めた4月から6月に実施した薬剤耐性に関する調査では、28%（17/60検体）が治療薬であるマクロライド系抗菌剤に耐性を示す百日咳菌でした。



症状

- ① 通常7～10日の潜伏期を経て、通常風邪症状となり、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります（カタル期）。
- ② 短い咳が連続的に起こり（スタッカート）、続いて息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出ます（ウープ）。このような咳嗽発作が繰り返すことをレプリーゼといい、しばしば嘔吐を伴います（痙咳期）。
- ③ 激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなりますが、その後、時折発作性の咳が出て、全経過約2～3ヶ月で回復します（回復期）。

感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫や接触により感染します。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後6か月未満では死に至る危険性があります。成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。患者や百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することもあるので注意してください。

●予防方法

*人混みはなるべくさけ、外出時にはマスクを着用しましょう。帰宅時には、手洗いを励行しましょう。

*定期予防接種があります。ワクチンは生後2ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●学校感染症

百日咳は、学校保健安全法（同法施行規則第18・19条）では、学校感染症（第2種）に位置づけられており、「特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで出席停止」とされています。ただし、病状により感染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。

.....

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
34	手足口病	発疹	6	女	須崎	human parvovirus B19
						Enterovirus 71
						Epstein-Barr virus
						Human herpes virus 7
						Rhinovirus
34	伝染性紅斑	38℃, 発疹	6	男	須崎	human parvovirus B19
34	手足口病	口内炎	4	女	須崎	Epstein-Barr virus
34	突発性発しん	39℃, 発疹	1	男	須崎	Human herpes virus 6
34	急性胃腸炎	嘔吐	2	女	中央東	Adenovirus 2
						Sapovirus genogroup unknown
						Rhinovirus
34	—	40℃	8	女	幡多	Epstein-Barr virus
34	—	39℃, 発疹	6	男	幡多	human parvovirus B19

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
33	ヘルパンギーナ	39℃, 嘔吐, 口内炎, けいれん	2	女	高知市	Coxsackievirus A4
33	手足口病	38℃, 発疹	3か月	女	高知市	Cytomegalovirus
						Echovirus 9
33	RSウイルス感染症	39℃, 咳嗽, 気管支炎	1	女	幡多	Adenovirus 1
						Parainfluenza virus 3
						Respiratory syncytial virus B
33	咽頭結膜熱	38℃, 咳嗽, 発疹	11か月	男	幡多	Human herpes virus 6
33	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	38℃, 咳嗽	4か月	男	幡多	Rhinovirus
33	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃	2	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	37	80歳代 男性	高知市
4類	日本紅斑熱	1	17	70歳代 男性	幡 多
				20歳代 男性	
5類	百日咳	1	1177	5~9歳 女性	安 芸
		1		5~9歳 女性	中央東
		1		40歳代 男性	
		2		0~4歳 女性	
		6		5~9歳 男性	
		3		5~9歳 女性	
		5		10~14歳 男性	
		3		10~14歳 女性	
		1		20歳代 女性	
		1		30歳代 女性	
		1		40歳代 女性	
		1		50歳代 女性	
		1		0~4歳 女性	幡 多

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	いちはら内科・小児科	百日咳1例(10歳男) マイコプラズマ感染症1例(9歳男)
中央東	JA高知病院小児科	RSウイルス感染症7例 インフルエンザ6例(A型3人、見なし陽性3人) COVID-19 1例 水痘1例 流行性耳下腺炎1例 手足口病2例 伝染性紅斑1例 突発性発疹1例 第33週マイコプラズマ(Lamp法)2例
	嶺北中央病院内科	インフルエンザA型1例
高知市	けら小児科・アレルギー科	百日咳4例(7歳、8歳、10歳、13歳) マイコプラズマ感染症5例(2歳、3歳、4歳、5歳、6歳) カンピロバクター腸炎1例(14歳) サルモネラ09腸炎+病原性大腸菌0124 1例(6歳) RSウイルス気管支炎2例 インフルエンザA型8例 インフルエンザB型1例 COVID-19 19例
	近森病院内科	インフルエンザA型1例
	はまだ小児科	インフルエンザA型9例(全てA型)
	福井小児科・内科・循環器科	COVID-19 14例 手足口病4例 ヘルパンギーナ4例 伝染性紅斑2例 溶連菌感染症1例
	ふないキッズクリニック	百日咳2例(6歳男、11歳男) インフルエンザA型7例
	細木病院小児科	マイコプラズマ感染症10例 (2才男、3才女、4才男、5才男女、7才女、8才女、9才女、9才男、10才女) 百日咳2例(8才男、9才男) RSウイルス2例 咽頭結膜熱4例 感染性胃腸炎3例 伝染性紅斑2例 突発性発疹1例 インフルエンザA型2例 COVID-19 6例
	中央西	くぼたこどもクリニック
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎5例 (9歳女、12歳男2人、14歳女、38歳男) マイコプラズマ気管支炎3例(10歳男、11歳男、19歳男)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザA型1例 COVID-19 6例 ヘルパンギーナ6例 マイコプラズマ肺炎2例(3歳、6歳) 百日咳0例
幡多	こいけクリニック	アデノウイルス咽頭炎1例(3歳男) 百日咳1例(5か月女)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは2025年8月26日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

第34週 令和7年8月18日（月）～令和7年8月24日（日）

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(33週)	高知県(34週未累計) R6/12/30～R7/8/24	全国(33週未累計) R6/12/30～R7/8/17
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		60	235	907	175	102	157	1,636 (43.05)	1,391 (36.61)	120,683 (34.14)	28,781 (757.39)	3,891,198 (1016.51)
	インフルエンザ			12	36	4	3	1	56 (1.47)	44 (1.16)	980 (0.28)	8,086 (212.79)	624,660 (146.29)
	新型コロナウイルス 感染症		30	75	166	66	55	45	437 (11.50)	299 (7.87)	22,288 (6.30)	5,708 (150.21)	491,401 (115.08)
小児科 (20)	咽頭結膜熱				6			1	7 (0.35)	6 (0.30)	534 (0.25)	180 (9.00)	34,679 (13.05)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			2	9	1			3 (0.75)	15 (0.75)	2,093 (0.97)	1,608 (80.40)	194,060 (73.04)
	感染性胃腸炎		2	4	29		4	9	48 (2.40)	49 (2.45)	5,296 (2.46)	2,889 (144.45)	594,577 (223.78)
	水痘			1				3	4 (0.20)	3 (0.15)	430 (0.20)	109 (5.45)	30,277 (11.40)
	手足口病			3	9	1	1		14 (0.70)	17 (0.85)	752 (0.35)	290 (14.50)	17,083 (6.43)
	伝染性紅斑			1	9	3		7	20 (1.00)	15 (0.75)	2,495 (1.16)	581 (29.05)	111,238 (41.87)
	突発性発疹			1	3		1		5 (0.25)	6 (0.30)	496 (0.23)	183 (9.15)	23,439 (8.82)
	ヘルパンギーナ			3	14	1	6	8	32 (1.60)	16 (0.80)	1,645 (0.77)	688 (34.40)	32,143 (12.10)
	流行性耳下腺炎			1					1 (0.05)	()	83 (0.04)	29 (1.45)	4,620 (1.74)
	RSウイルス感染症			7	11	1		3	22 (1.10)	12 (0.60)	1,358 (0.63)	577 (28.85)	61,518 (23.15)
眼科 (3)	急性出血性結膜炎								()	()	11 (0.02)	()	876 (1.27)
	流行性角結膜炎								()	4 (1.33)	420 (0.67)	31 (10.33)	18,435 (26.72)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								()	()	5 (0.01)	2 (0.25)	303 (0.63)
	無菌性髄膜炎				1				1 (0.13)	()	30 (0.06)	7 (0.88)	585 (1.22)
	マイコプラズマ肺炎			1	5			1	7 (0.88)	9 (1.13)	558 (1.16)	185 (23.13)	8,882 (18.50)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	()	()	69 (0.14)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								()	()	2 ()	22 (2.75)	1,730 (3.60)
計 (ARIを除く)		32 (12.00)	111 (19.17)	298 (28.02)	77 (21.00)	70 (20.50)	81 (18.90)	669 (22.38)			39,476	21,175 (719.70)	2,250,575
前週 (ARIを除く)		15 (9.00)	90 (14.78)	224 (25.66)	47 (13.00)	43 (13.25)	76 (15.71)		495 (18.44)				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

注 () は定点当たり人数

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

高知県感染症情報（49定点医療機関） 定点当たり人数

第34週

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(33週)	高知県(34週未累計) R6/12/30～R7/8/24	全国(33週未累計) R6/12/30～R7/8/17
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		20.00	33.57	69.77	43.75	25.50	22.43	43.05	36.61	34.14	757.39	1016.51
	インフルエンザ			1.71	2.77	1.00	0.75	0.14	1.47	1.16	0.28	212.79	146.29
	新型コロナウイルス 感染症		10.00	10.71	12.77	16.50	13.75	6.43	11.50	7.87	6.30	150.21	115.08
小児科 (20)	咽頭結膜熱				0.75			0.33	0.35	0.30	0.25	9.00	13.05
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			0.50	1.13	0.50		1.00	0.75	0.75	0.97	80.40	73.04
	感染性胃腸炎		2.00	1.00	3.63		2.00	3.00	2.40	2.45	2.46	144.45	223.78
	水痘			0.25				1.00	0.20	0.15	0.20	5.45	11.40
	手足口病			0.75	1.13	0.50	0.50		0.70	0.85	0.35	14.50	6.43
	伝染性紅斑			0.25	1.13	1.50		2.33	1.00	0.75	1.16	29.05	41.87
	突発性発疹			0.25	0.38		0.50		0.25	0.30	0.23	9.15	8.82
	ヘルパンギーナ			0.75	1.75	0.50	3.00	2.67	1.60	0.80	0.77	34.40	12.10
	流行性耳下腺炎			0.25					0.05		0.04	1.45	1.74
	RSウイルス感染症			1.75	1.38	0.50		1.00	1.10	0.60	0.63	28.85	23.15
眼科 (3)	急性出血性結膜炎										0.02		1.27
	流行性角結膜炎									1.33	0.67	10.33	26.72
基幹 (8)	細菌性髄膜炎										0.01	0.25	0.63
	無菌性髄膜炎				0.20				0.13		0.06	0.88	1.22
	マイコプラズマ肺炎			1.00	1.00			1.00	0.88	1.13	1.16	23.13	18.50
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)												0.14
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)											2.75	3.60
計 (ARIを除く)		12.00	19.17	28.02	21.00	20.50	18.90	22.38			719.70		
前週 (ARIを除く)		9.00	14.78	25.66	13.00	13.25	15.71		18.44				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）		疾病別・年齢別報告数														2025年		34w				
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上								
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	1,636	155	486	306	134	21	66	65	52	72	69	106	104								
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症(38)	インフルエンザ	56		6	6	4	1	9	4	4			2	7	1	5	1		1	1	1	3
	新型コロナウイルス感染症	437	3	4	10	7	4	2	6	3	4	2	3	18	7	34	33	35	55	57	77	73
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
小児科(20)	咽頭結膜熱	7			3	1				1		2										
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15				2		5	1		2	1	2	1								1
	感染性胃腸炎	48	1	1	8	5	4	5	4	4	3	1	2	8								2
	水痘	4						1		2				1								
	手足口病	14	1		3	4	2		2	1	1											
	伝染性紅斑	20				3	1	5	4	2	1	2	1	1								
	突発性発疹	5		1	4																	
	ヘルパンギーナ	32		5	6	8	5	4	2		2											
	流行性耳下腺炎	1												1								
RSウイルス感染症	22	4	5	11	2																	
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
眼科(3)	急性出血性結膜炎																					
	流行性角結膜炎																					
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
基幹(8)	細菌性髄膜炎																					
	無菌性髄膜炎	1											1									
	マイコプラズマ肺炎	7			4		1					1	1									
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)																					
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)																					

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2025年第34週

(急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

